2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　株式会社ＧＳＩクレオス　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　8101　　URL https://www.gsi.co.jp
代　　表　　者　（役職名） 代表取締役 社長執行役員 CEO　（氏名） 吉永　直明
問合せ先責任者　（役職名） 上席執行役員 CFO　（氏名） 足立　豊士　(TEL) 03-5418-2122

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	85,926	1.8	2,087	18.3	2,263	12.2	1,644	22.0
2026年３月期中間期	84,417	6.0	1,764	△2.3	2,017	20.2	1,347	8.9

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,804百万円（　78.2%）　2026年３月期中間期　1,573百万円（△38.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	135.54	―
2026年３月期中間期	109.77	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	86,160	33,158	38.5
2026年３月期	89,305	32,210	36.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　33,158百万円　2026年３月期　32,210百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	104.00	104.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	108.00	108.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有
詳細は、本日（2026年11月12日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	186,000	△1.4	3,800	5.4	3,800	△3.2	2,600	2.2	215.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	12,629,942株	2026年３月期	12,629,942株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	615,233株	2026年３月期	389,799株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	12,131,678株	2026年３月期中間期	12,276,963株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】Ｐ．３「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 11
３．（参考）海外売上高 …… 12

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

①　業績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善などが続くなか、緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済に目を向けると、不安定な中東情勢の長期化に伴うエネルギーコストや原材料価格の高騰などにより、事業環境は依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、2031年の創立100周年を見据えた長期ビジョンとして、「創造と刷新を続ける類いなき事業創造型商社」の実現を掲げております。

この長期ビジョンの実現に向けた第２フェーズとして、中期経営計画“GSI CONNECT Phase２”（2025-2027)を2025年度より推進しております。2026年度は本計画の折り返しの一年であり、最終年度である2027年度の目標達成と創業100周年という節目に向けた重要な一年となります。当社グループは、中期経営計画に掲げる施策を着実に推進し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は、前年同期比1,509百万円、1.8％増収の85,926百万円となりました。売上総利益は、前年同期比489百万円、5.4％増益の9,471百万円、営業利益は、前年同期比323百万円、18.3％増益の2,087百万円、経常利益は、前年同期比245百万円、12.2％増益の2,263百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比296百万円、22.0％増益の1,644百万円となりました。

すべての項目で前年同期を上回り、売上高および親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、中間期として過去最高を更新しました。また、各利益項目の年間業績予想に対する当中間連結会計期間の進捗は、当初の想定を上回っており、堅調に推移しております。

②　セグメント別の状況

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

＜ファイバー＞

主要商材のインナー用機能糸・生地の取引が、好調であった前年同期には及ばず、売上高は前年同期比5.3％減収の48,286百万円となりました。一方で、営業利益は、前年同期に一部取引先に対して貸倒引当金繰入額を計上していたことから、前年同期比65.1％増益の258百万円となりました。

＜アウター＞

トリアセテート繊維事業が伸長したことに加え、欧米向けの生地輸出販売も順調に推移したことなどにより、売上高は前年同期比16.6％増収の14,779百万円となり、営業利益は前年同期比51.6％増益の989百万円となりました。

＜インナー＞

インナー製品の取引は、盛夏対応商品の需要を背景に堅調に推移したものの、ランジェリーなどの一部製品分野における販売環境の厳しさや原材料価格の上昇などにより、売上高は前年同期比2.6％減収の5,527百万円となり、営業利益は前年同期比63.2％減益の87百万円となりました。

＜セミコンダクター＞

半導体関連の取引は、世界的なAI需要の拡大を背景に、中国製ウェハおよび関連商材の販売が伸長したことなどにより、売上高は前年同期比24.5％増収の3,384百万円となり、営業利益は前年同期比184.4％増益の102百万円となりました。

＜ケミカル＞

塗料原料の輸出取引が堅調に推移したことに加え、樹脂やフィルムの価格改定などにより、売上高は前年同期比28.9%増収の9,105百万円となり、営業利益は前年同期比29.2%増益の586百万円となりました。

＜ホビー&ライフ＞

ホビー関連の取引は、欧米および中国向けの輸出販売が堅調に推移しました。また、化粧品原料の輸入販売が伸長したことなどから、売上高は前年同期比9.6%増収の2,648百万円となり、営業利益は前年同期比54.8%増益の345百万円となりました。

＜マシナリー&イクイップメント＞

産業機械用部品や理化学関連装置、医療廃棄物処理装置の販売が業績に寄与しましたが、前年同期にあった複合材関連装置などの大型案件の販売が当期はなかったことにより、売上高は前年同期比23.5%減収の2,194百万円となり、営業利益は前年同期比82.8%減益の38百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、売上債権の減少などにより、前期末比3,145百万円減少の86,160百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少などにより、前期末比4,092百万円減少の53,002百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末比947百万円増加の33,158百万円となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、252百万円の収入(前年同期は4,273百万円の収入)となりました。主な要因は売上債権の減少などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、21百万円の支出(前年同期は1,647百万円の支出)となりました。主な要因は固定資産の取得による支出などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、957百万円の支出(前年同期は2,464百万円の支出)となりました。主な要因は配当金の支払などによるものです。

これらに換算差額による増加額142百万円を加味した結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前期末比583百万円減少の7,351百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、売上高および親会社株主に帰属する中間純利益ともに中間期として過去最高を更新しました。将来の成長に向けたOPV（有機薄膜太陽電池）事業の立ち上げを推進するなか、研究開発費などの一般管理費が増加したほか、株式会社ソアロンの工場設備トラブルによる一時的な操業停止に伴う損失を特別損失に計上しました。こうした先行投資や一時的な損失を吸収し、各利益の通期業績予想に対する進捗率はいずれも50%を超えるなど、好調に推移しております。

下半期については、一部事業において中間期に比べて収益が落ち着くと想定しておりますが、中間期の好調な実績を踏まえ、通期業績は期初予想を上回る見込みです。

現在、下半期の各事業の動向や通期業績に影響を及ぼす諸要因を精査し、通期業績予想の上方修正に向けた検討を進めております。上方修正を決定した場合には、速やかに公表いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,935	7,351
受取手形	425	25
売掛金	45,234	39,831
電子記録債権	3,275	3,688
商品及び製品	15,061	16,651
仕掛品	1,460	1,600
原材料	393	400
その他	2,763	2,473
貸倒引当金	△186	△200
流動資産合計	76,362	71,822
固定資産		
有形固定資産	3,577	3,520
無形固定資産	436	497
投資その他の資産		
投資有価証券	6,510	7,728
その他	2,419	2,590
投資その他の資産合計	8,929	10,319
固定資産合計	12,943	14,337
資産合計	89,305	86,160
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,651	31,247
電子記録債務	230	349
短期借入金	10,336	11,358
１年内返済予定の長期借入金	515	505
未払法人税等	480	521
引当金	952	725
その他	3,861	3,767
流動負債合計	53,027	48,474
固定負債		
長期借入金	500	500
退職給付に係る負債	683	718
その他	2,884	3,309
固定負債合計	4,067	4,527
負債合計	57,095	53,002

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	886	885
利益剰余金	19,225	19,596
自己株式	△381	△964
株主資本合計	26,916	26,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,465	3,301
繰延ヘッジ損益	41	△0
為替換算調整勘定	2,602	2,980
退職給付に係る調整累計額	184	172
その他の包括利益累計額合計	5,294	6,454
純資産合計	32,210	33,158
負債純資産合計	89,305	86,160

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	84,417	85,926
売上原価	75,434	76,454
売上総利益	8,982	9,471
販売費及び一般管理費	7,218	7,384
営業利益	1,764	2,087
営業外収益		
受取利息	57	59
受取配当金	131	146
持分法による投資利益	36	10
為替差益	114	123
その他	60	48
営業外収益合計	400	389
営業外費用		
支払利息	107	136
持分法による投資損失	6	21
その他	33	55
営業外費用合計	147	213
経常利益	2,017	2,263
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	194	327
事業撤退損失引当金戻入額	61	－
特別利益合計	256	329
特別損失		
固定資産除却損	0	1
事業撤退損失	14	－
操業停止損失	－	279
特別損失合計	15	280
税金等調整前中間純利益	2,259	2,312
法人税、住民税及び事業税	570	598
法人税等調整額	341	68
法人税等合計	911	667
中間純利益	1,347	1,644
親会社株主に帰属する中間純利益	1,347	1,644

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
中間純利益	1,347	1,644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	893	835
繰延ヘッジ損益	23	△41
為替換算調整勘定	△686	378
退職給付に係る調整額	△3	△12
その他の包括利益合計	226	1,160
中間包括利益	1,573	2,804
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,573	2,804

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,259	2,312
減価償却費	224	255
貸倒引当金の増減額（△は減少）	57	13
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△132	20
受取利息及び受取配当金	△188	△206
支払利息	107	136
為替差損益（△は益）	△14	△2
有形固定資産除却損	0	1
有形固定資産売却損益（△は益）	△0	△1
投資有価証券売却損益（△は益）	△194	△327
操業停止損失	－	279
事業撤退損失引当金戻入額	△61	－
事業撤退損失	14	－
売上債権の増減額（△は増加）	△5,923	6,413
棚卸資産の増減額（△は増加）	484	△1,647
その他の資産の増減額（△は増加）	877	221
仕入債務の増減額（△は減少）	8,106	△6,167
その他の負債の増減額（△は減少）	△784	△427
その他	△75	△137
小計	4,755	736
利息及び配当金の受取額	192	209
利息の支払額	△107	△133
法人税等の支払額	△566	△559
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,273	252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△299	△209
固定資産の売却による収入	1	2
投資有価証券の取得による支出	△2	△60
投資有価証券の売却による収入	259	390
出資金の売却による収入	0	－
出資金の払込による支出	－	△133
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,559	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△0	－
貸付けによる支出	△44	△23
貸付金の回収による収入	14	28
その他	△16	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,647	△21

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,127	1,004
長期借入金の返済による支出	△55	△10
リース債務の返済による支出	△91	△85
自己株式の取得による支出	△0	△592
配当金の支払額	△1,190	△1,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,464	△957
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	142
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	40	△583
現金及び現金同等物の期首残高	7,994	7,935
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	111	―
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,146	7,351

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額(注１)	中間連結損益計算書計上額(注２)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコンダクター	ケミカル	ホビー&ライフ	マシナリー&イクイップメント	計		
売上高										
外部顧客への売上高	50,995	12,680	5,672	2,717	7,065	2,415	2,870	84,417	―	84,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	△0	0	3	7	0	0	18	△18	―
計	51,002	12,680	5,673	2,721	7,072	2,415	2,870	84,436	△18	84,417
セグメント損益	156	652	238	35	453	223	224	1,984	△220	1,764

(注) １　セグメント損益の調整額△220百万円には、セグメント間取引消去208百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△429百万円が含まれております。

２　セグメント損益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額(注１)	中間連結損益計算書計上額(注２)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコンダクター	ケミカル	ホビー&ライフ	マシナリー&イクイップメント	計		
売上高										
外部顧客への売上高	48,286	14,779	5,527	3,384	9,105	2,648	2,194	85,926	―	85,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	0	0	1	14	0	0	25	△25	―
計	48,296	14,779	5,527	3,385	9,120	2,648	2,194	85,952	△25	85,926
セグメント損益	258	989	87	102	586	345	38	2,407	△320	2,087

(注) １　セグメント損益の調整額△320百万円には、セグメント間取引消去162百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△482百万円が含まれております。

２　セグメント損益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．（参考）海外売上高

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

(単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
Ⅰ　海外売上高	51,148	2,953	2,233	56,335
Ⅱ　連結売上高				84,417
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	60.6	3.5	2.6	66.7

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

(単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
Ⅰ　海外売上高	49,551	2,694	2,796	55,043
Ⅱ　連結売上高				85,926
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	57.7	3.1	3.3	64.1

(注)　(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。
アジア・・・・・中国、香港
米州　・・・・・アメリカ、ブラジル
その他・・・・・欧州
(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。